

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有		
教育学部	講師	浜上 洋平				
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
帝京大学授業アンケート			保健体育科教育法Ⅱに対し、学生から非常に高い評価を得られた(総合5点満点中4.33点)。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
初等体育授業づくり入門 (大修館書店) 第3章・第4節「水泳運動系領域」	平成30年4月	初等体育授業の水泳運動系領域の授業づくりのポイントを具体例とともに示した小学校教員志望学生向けのテキストである。				
初等体育科教育 (ミネルヴァ書房) 第Ⅱ部・第10章「初等体育科教育の実践④-水泳運動系」	平成30年12月	初等体育科教育における水泳運動系領域の指導内容と実践的な指導方法をまとめた小学校教員志望学生向けのテキストである。				
体育科教育学入門 (三訂版) 第Ⅲ部・第7章「水泳運動 [水泳] の教材づくり・授業づくり」	令和3年4月	保健体育教員志望者、体育科教育学の研究を志向する者のための入門書である。				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
ICT機器を活用した「模擬授業内の教師行動を省察する」ためのアクティブ・ラーニングの導入	平成28年9月～現在に至る	タブレット端末を活用し、教員志望学生に模擬授業映像の視聴を伴う省察を行わせ、教科指導力の向上を図っている。				
映像遅延装置を使用した「映像情報の即時的フィードバック」をともなう実技系授業の実施	平成28年9月～現在に至る	水泳の実技の授業において映像遅延装置を活用することにより、学生の泳技能向上を図るとともに理論の理解を促進している。				
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
第3章・第4節「水泳運動系領域」/初等体育授業づくり入門	岩田靖、吉野聡、日野克博、近藤智靖	118頁～125頁	大修館書店	東京都	平成30年4月	
第Ⅱ部・第10章「初等体育科教育の実践④-水泳運動系」/初等体育科教育	吉田武男、岡出美則	114頁～125頁	ミネルヴァ書房	京都府	平成30年12月	
体育科教育学入門 (三訂版) 第Ⅲ部・第7章「水泳運動 [水泳] の教材づくり・授業づくり」	岡出美則、友添秀則、岩田靖	193頁～202頁	大修館書店	東京都	令和3年4月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
背浮きの学習による背泳ぎの姿勢改善の効果	浜上洋平	大阪体育大学教育学研究	第5巻	1頁～11頁	令和3年3月	
ICT機器を活用した体育実技系科目の授業プログラム立案と成果	浜上洋平、清水正典ほか	帝京大学高等教育開発センターフォーラム	Vol.6	103頁-108頁	平成31年2月	
保健体育科教員養成カリキュラムにおける課題の検討—4年次学生が抱える教科指導に対する不安に着目して—	浜上洋平、鈴木賀映子	帝京大学教職センター年報	3号	3頁～13頁	平成28年7月	
学部段階における教師の力量形成—4年次教職学生の不安とニーズから—	鈴木賀映子、浜上洋平	帝京大学大学院教職研究科年報	7号	99頁～108頁	平成28年7月	
泳ぎの習熟度からみる背泳ぎとクロールの学習指導の順序性に関する検討	浜上洋平、橋川未歩ほか	岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要	14号	211頁～217頁	平成27年2月	
帝京大学の保健体育科教員養成課程における模擬授業の取り組みと成果	浜上洋平	帝京大学教職センター年報	2号	1頁～12頁	平成27年5月	
マット運動における回転系接点技の系統的指導法に関する研究—ゆりかごを用いた前・後転の同時習得プログラムの検証—	清水将、浜上洋平ほか	岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要	14号	201頁～210頁	平成27年2月	
へき地・小規模校における子どもの体力と生活運動量の関係—一体づくり運動を活性化させる教育活動の基礎的検討—	清水将、浜上洋平ほか	岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要	14号	191頁～199頁	平成27年2月	
生涯スポーツにつなぐ大学体育実技の水泳授業	浜上洋平	帝京大学高等教育開発センターフォーラム	Vol.1 (創刊号)	153頁～165頁	平成26年7月	
体育教師教育における模擬授業の効果に関する事例研究—二大学で行なう模擬授業の授業評価と授業に対する意識に着目して—	木山慶子、野田耕、浜上洋平	九州体育・スポーツ学研究	第29巻 (1)	1頁～8頁	平成26年11月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内（講演）	令和元年6月	第19回学校水泳研究会	水泳授業における背浮きの意義と汎用可能性	鳴門教育大学	浜上洋平	
国内（一般演題）	平成29年9月	日本体育学会第68回大会	小学校高学年の泳げる児童を対象にした続けて長く泳ぐための平泳ぎの学習指導	静岡大学	浜上洋平	
国内（一般演題）	平成28年8月	日本体育学会第67回大会	教員養成段階における体育教師志望学生の相互作用行動を阻害する要因—教材内容についての知識の習得を企図した学びの可能性—	大阪体育大学	浜上洋平	
国内（講演）	平成27年7月	第59回全国小学校体育科教育研究集会	小学校における水泳授業の在り方	山形テルサ	浜上洋平	
国内（一般演題）	平成27年8月	日本体育学会第66回大会	高等学校における保健体育の評価の実態に関する研究	国士舘大学	清水将、浜上洋平	
国内（一般演題）	平成26年11月	日本スポーツ教育学会	水泳の授業における近代泳法の指導順序に関する一考察—背浮き、背泳ぎの有効性に着目して—	愛媛大学	浜上洋平	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
その他の助成金	帝京大学SoTL助成プログラム	ICT機器を活用した体育実技系科目の授業プログラム立案と成果	代表	2017.4-2018.3	500,000円	
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
<b>III 加入学会および社会における活動</b>						
期 間	内 容					
加入学会						
平成19年4月～現在に至る	日本体育学会、日本スポーツ教育学会、日本体育科教育学会、体育授業研究会					
平成29年4月～現在に至る	日本水泳・水中運動学会					
社会的活動						
平成26年4月～現在に至る	かながわ保健体育・スポーツ学習会（神奈川県立体育センター主催）において、有識者として定期的に学習会や研究授業等の指導助言を担当している。					
<b>IV 管理活動</b>						
期 間	内 容					
委員会活動						
教職委員会（帝京大学医療技術学部）	帝京大学医療技術学部の保健体育科および養護教諭の教員養成課程のカリキュラムの構築や面談指導、教員採用試験の説明会などの企画等を担当した。					
教職課程委員会（帝京大学）	帝京大学全学の教職課程のカリキュラム編成、教育実習事前・事後指導、教職実践演習等について意見交換を交わし、よりよい教職課程の運営に向け、尽力した。					
特別プロジェクト活動						
<b>V クラブ活動の指導業績</b>						
1. 指導クラブ名	女子水上競技部	2. 役職	監督	3. 部員数	31人	
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数：1回	延べ日数：4日				
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期間	場 所			
	第96回 日本学生選手権水泳競技大会	2020.9.30-10.4	東京辰巳国際水泳場			
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）						
開催期間	大会名	成績		場 所		
2020.7.26-7.28	2020年度 関西学生秋季水泳競技大会 AUTUMN CHALLENGE	女子50m自由形優勝 女子400mフリーレーン優勝 女子200m個人メドレー優勝 女子200m平泳ぎ優勝		丸善インテックス大阪プール		
<b>VI 賞罰（職務に関する賞罰）</b>						
年 月	受賞等機関名	内 容		備 考		